

# 校長室の窓辺より

都留市大野396 電話 0554(43)2336

校長 深澤 秀興

## いよいよ、新緑の5月!

### ● 連休中に気を付けていただきたいこと ●

平成30年度がスタートして、早1か月。子どもたちは、さぞや、新生活の船出に疲れたことと思います。

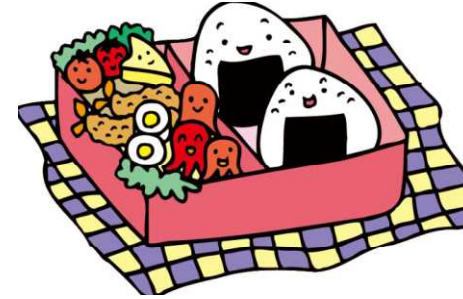
そんな中での、大型連休。習い事や家族でお出かけ等、いろいろなことがあるとは思いますが、しっかりと休んで、来週からの再スタートに備えてほしいと思います。

連休中の過ごし方として気を付けてほしいことについては、4月27日付のお便り「連休中の生活について」で、お知らせをしました。子どもたちが、安全・安心に、充実した連休を過ごせますよう、御理解と御協力をお願いいたします。中でも、交通事故と水の事故には、御注意いただきたいと思ます。

過日、4月22日に日曜参観を実施しました。その日の朝、いつもどおりに、学校前の横断歩道で交通指導を行いました。多くの大型バイクが、しかもスピードを出して行き交う光景を目の当たりにし、大変驚きました。この連休中も、時を選ばず、ほぼ同様の光景が繰り広げられるのでは無いかと思います。場所によっては、カーブが連続する箇所もありますので、子どもたちが大きな事故に巻き込まれることが無いよう、各御家庭、地域で、子どもたちの安全を見守っていただきたいと思ます。また、気温が上昇するこの大型連休中は、毎年といってよいほど、全国各地で、水の事故が起こっています。本校学区内には、菅野川をはじめとして、幾筋もの川が流れています。子どもたちだけで、川縁で遊ぶことが無いよう、この点にも御留意いただきたいと思ます。



## 遠足・宿泊的行事に思うこと・・・



新緑の季節を迎え、子どもたちが楽しみにしている遠足・宿泊的行事がスタートします。1・2年生は合同で「西桂さくら公園」へ、3年生は単独で「山梨県立リニア見学センター」や「尾県郷土資料館」へ、そして4・5年生は「宝の山ふれあいの里」での林間学校へ、6年生は鎌倉・東京方面への修学旅行に、それぞれ出かけていきます。

学校が実施する、遠足・宿泊的行事は、家で行うドライブや旅行とは異なり、当然、教育的な「ねらい」があります。例えば、「校外における集団生活を通して、心身をきたえ、集団生活の楽しさを味わわせる」、あるいは「学校内では得られない教師と児童との相互の心の交流や、地域社会の人々とのふれあいを通して見聞を広め、豊かな人間性を育てる」といった内容です。

確かに、学校という限られた空間の中ではなかなか得ることができない、その場にはかなければできない経験を積ませるこや、「百聞は一見にしかず」のことわざではないですが、大仏様の大きさを直に見てくることはとても重要なことだと考えます。故に、この機会を捉えて、目や耳や心をフル活用して、いろいろな物を見、聞き、そして感じ・考えてきてほしいと思ます。

そんな中で、私が特に、学んできてほしいと思することがあります。それは、日本が大事にしてきた、一般社会につながる集団のルールや生きる力です。

私が教師に採用された頃までは、春の遠足は近場に歩きで、秋は乗り物に乗って遠くの場所へというのが定番でした。そこで、小学生の頃の春の遠足はいつも、「行きはヨイヨイ、帰りは怖い」を地で行く、蟻の行列でした。先生に、「前の人との間隔を開けると、後に続く人に迷惑がかかるので、間を空けずにしっかりと前の人に続いて歩きなさい」と注意されながら歩いたことが、昨日のことのように思い出されます。

子ども心に、とても疲れたけれど、歩かない限りは帰れない。そこで、頑張っ歩いてきた経験や、何にしても一列になって並び、横入りなどせず、自分の番まで待つ。こういったことが、とても良い勉強になったように思ます。

思い起こしてみると、阪神淡路大震災、東日本大震災を報じた世界のメディアが、こそって賞賛したことの1つに、日本人は苦難の時であっても、一列に並び、秩序を持って生活をするという「文化」があったと思ます。

この、「文化」の基礎も、校外学習でしっかりと学んできてほしいと、期待しています。



【裏も御覧ください】

# 「叱る」と「怒る」

連休明けの5月10日・11日の1拍2日で、6年生が修学旅行に出かけます。

私は、この時期になると、決して忘れることのできない失敗を思い出します。「叱る」と「怒る」ことの違いに気付かされた、その恥ずかしい体験談を、お話ししたいと思います。

平成4年、私は教員人生で最初の6年生を、上野原の島田小学校でさせていただきました。その年の修学旅行の思い出です。

諸先輩方から、引率上の諸注意を御指導いただきましたが、その1つに、車酔いをさせないために、夜はしっかり睡眠を取らせたほうがよいというものがありました。そこで、修学旅行の一晩目、消灯後もしゃべっていた女子を、私は廊下に出し、「あれ程、指導したのに！」という思いに任せて大きな声で「怒って」しまいました。

平成10年、次の赴任校、竜王北小学校で、私は5度目の修学旅行の引率を行う機会を得ました。千葉市内のホテルでの出来事。深夜、見回りに行くと、大広間の男子が、煌々と電気をつけ、UNOに興じていました。そのとき、自然と口を突いて出てきた言葉は、「嬉しいのは分かるけど、眠い友達もいるから電気は消してね。小さな声なら話をしてもいいよ」でした。その後、その部屋から、子どもの声が聞こえることはありませんでした。

この年の卒業式の折、「修学旅行の時の叱り方、子どもたちは感激していましたよ」と、保護者より伝えていただきました。

自分自身、教師としての成長を感じると共に、「叱る」と「怒る」の違いを実感した瞬間でもありました。

成長途上の子どもには、当然、教師として、保護者として叱らねばならない場面があります。このとき、一時の感情に流されて怒るのか、はたまた子どもの立場や気持ちをくみ取って叱るのか、ここが「怒る」と「叱る」の違いではないか、このように考えています。



## 4月点描 (てんぴょう)



### ★入学式

4月5日（金）に、入学式を行いました。

9名の新入生が、御来賓の皆様、2年生から6年生までの上級生、保護者の皆様、そして担任の佐藤史子先生をはじめとする諸先生方に祝福される中、小学校生活をスタートさせました。

### ★委員会活動スタート

4月11日（水）に、今年度の委員会活動がスタートしました。

本校には、自分たちの力で、学校生活をよりよいものにするために、児童会本部（企画委員会）の下に、図書委員会、保健・給食委員会、放送委員会、環境・ボランティア委員会があり、活動しています。



### ★1年生を迎える会

4月20日（金）に、1年生を迎える会が行われました。

児童会本部が中心になって行ったこの会では、小学校ではこんなことを勉強するんだよといった紹介を兼ねて、各学年の発表がありました。

1年生もしっかりと、自分の特技を発表しました。

